

教科名	公民
科目名	倫理
グレード	選択者
単位時間	2単位
対象学年	高校3年生選択者

科目の概要と目標	教科書は青年期の心理の学習から始まり、源流思想・西洋思想・日本思想などの先哲の思想の学習を通じて、現代社会の抱える諸問題に対しての自分の考えを養っていく科目と言えます。もちろん先哲の思想は、自分の考えに近いものや外れたものもあります。自分の考えに合わなくても、さまざまな思想を学ぶことにより多面的なものを見方をするきっかけになると思います。そのような見方の形成がこの科目の目標とも言えます。
使用教科書	東京書籍 『倫理』
使用副教材	東京書籍 『要点マスター倫理 演習ノート』 第一学習社 『テオーリア最新倫理資料集 新版四訂』 実教出版 『2024』
評価の方法	定期考査 約90% 授業態度や課題提出状況 約10%
学習の方法	高校3年生での選択者は、受験科目を意識しての選択であると思います。授業での学習はもちろんですが、授業で行なう問題演習にもしっかり取り組み、間違えた問題はチェックして2度同じミスをしないように定着させることが大切です。ただ覚えるだけだとつまらなくなりますので、授業で使った資料なども読み直し、思想家の生きた時代背景などを関連付けて学ぶことができると学習の楽しさが沸いてくると思います。
生徒への一言	受験を意識しての選択だと思います。授業者側も受験を意識した授業構成で行ないます。しっかりとついてきてくれれば、確実に力をつけてきます。自分の努力を信じて学習を進めていきましょう。 授業では、教科書の学習と、単元ごとにセンター試験のその分野の過去問演習を交互に行なって、インプットとアウトプットの学習を繰り返します。授業時数の関係で、かなり進度も早く忙しい授業内容になりますが、一生懸命に授業時間の活動をしていってほしいと思います。

月	授 業 予 定
4月	※高校2年生での授業で、西洋思想までの学習は終えている前提で書いています。 日本の伝統思想（神話、祭祀、仏教伝来、奈良仏教）
5月	日本の伝統思想の続き（鎌倉新仏教、儒学の受容、古学、国学、江戸時代の庶民の思想、幕末の思想）
	5月下旬 前期中間考査
6月	近代の日本の思想（啓蒙思想、国民道徳、キリスト教、近代的自我、社会主義、日本の哲学の誕生）
7月	近代の日本の思想（大正デモクラシー、超国家主義、昭和初期の思想、戦後の思想） 現代の諸課題と倫理（平等主義、生命倫理、環境問題、家族、情報社会、多文化主義、国際平和） 夏季講習で、必修講座を開講し、授業を進めていく予定です。
8・9月	青年期の意義と課題、 源流思想（ギリシャ哲学、ヘレニズムの思想、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教）
	9月下旬 前期期末考査

10月	源流思想の続き（仏教、中国思想） 西洋近代思想（ルネサンス、宗教改革、モラリスト）
11月	西洋近代思想の続き（近代科学、社会契約説、カント、功利主義、実証主義、プラグマティズム、社会主義など）
12月	西洋近代思想の続き（実存主義、フロイト、構造主義、他者との関係、自由、差別問題、社会奉仕など） 教科書終了次第、センター試験の過去問演習。
1月	自由登校期間なので、個別対応。
2月	自由登校期間なので、個別対応。
3月	特になし